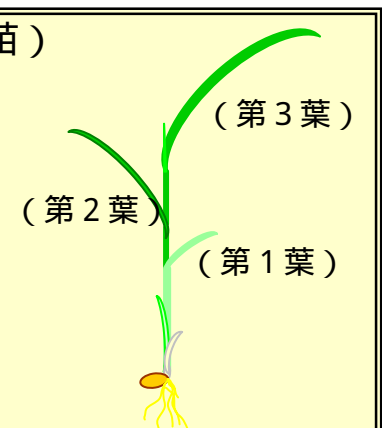
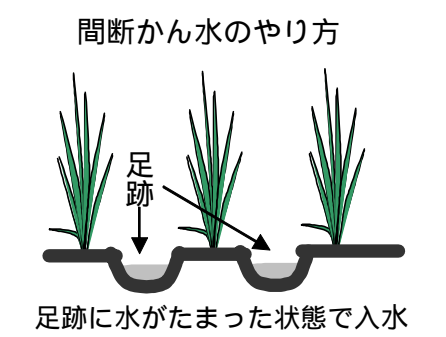


	平均 気温	生育経過および主な作業 【薬剤使用】	水管理	生産履歴(生産者記入)	栽培のポイント(コシヒカリ)									
4月 20日~		(5/20 田植の場合) 4/25 播種 播種期 【種子消毒】 【床土消毒】 (5/30 田植の場合) 5/ 8 播種		種子更新率 <input type="text"/> % (種子は100%更新を) 購入種子量 <input type="text"/> kg (播種量は10a当たり3~3.5kg) 種子消毒 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (倍) (播種9~12日前に消毒) 床土消毒 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (/1箱) 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (/1箱)	播種 ・種子消毒:あらかじめ消毒してないとき(主な薬剤 ヘルシード T70アブルなど) ・床土準備:pH5.0~5.5の培土を使用 床土培土に肥料が入ってないときは、「稚苗用555」を施用 ・床土消毒(購入培土でも必ずおこなう) <table border="1"> <tr> <th>使用方法</th> <th>使用薬剤</th> </tr> <tr> <td>液剤をかん注</td> <td>矽カレ-ス液剤 + ダコニ-ル1000</td> </tr> <tr> <td>粉剤を床土混和</td> <td>矽カレ-ン粉剤または矽カレ-ス粉剤 + ダコニ-ル粉剤</td> </tr> </table>	使用方法	使用薬剤	液剤をかん注	矽カレ-ス液剤 + ダコニ-ル1000	粉剤を床土混和	矽カレ-ン粉剤または矽カレ-ス粉剤 + ダコニ-ル粉剤			
使用方法	使用薬剤													
液剤をかん注	矽カレ-ス液剤 + ダコニ-ル1000													
粉剤を床土混和	矽カレ-ン粉剤または矽カレ-ス粉剤 + ダコニ-ル粉剤													
5月 1日~				播種日 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 (田植22~25日前) 耕起 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 代かき 荒しる <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日, 植しる <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 施肥 肥料名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (kg/10a) (一発基肥の施肥は田植前10日以内)	・播種 1箱あたりの播種量は、乾燥籾で130g以下(催芽籾で160g以下) 10aあたりの使用箱数は20~25箱 育苗 育苗中の温度:日中18~25、夜間5以上 日当たりが良く、風通しの良いところで育苗 かん水は午前中に行い、夕方に床土表面が乾く程度にする 施肥 <table border="1"> <tr> <th>肥料名</th> <th>施肥量</th> <th>穂肥</th> </tr> <tr> <td>ひとふりくんプレミア2号</td> <td>3~3.5袋/10a</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>B B コシヒカリ555</td> <td>2袋/10a</td> <td>あり</td> </tr> </table> 良食味米生産のためには「ひとふりくん」がおすすめ 田植え ・21~23株/m ² (70株/坪、株間)前後を確保 ・ <u>田植え前に苗箱防除をおこなう</u> (主な薬剤 ビ-ム [®] リンス, Dr. 刈セ [®] リンス)	肥料名	施肥量	穂肥	ひとふりくんプレミア2号	3~3.5袋/10a	なし	B B コシヒカリ555	2袋/10a	あり
肥料名	施肥量	穂肥												
ひとふりくんプレミア2号	3~3.5袋/10a	なし												
B B コシヒカリ555	2袋/10a	あり												
11日~		耕起 代かき 施肥 田植期 【苗箱施用剤】 【除草剤】 (初中期剤)	苗箱防除 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (g/1箱) 田植日 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 (田植適期5/15~30) 水田除草 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (g/10a) (初中期一発除草剤)	目標とする苗質(半中苗) 育苗日数 22~25日 葉数 3.1葉 草丈 13~15cm 	除草剤散布 (主な薬剤 サラブレッド [®] アブルなど) 除草剤散布前後の水管理が重要 散布直前は深水(5cm)、散布後3~4日は完全止水(落水、かけ流し禁止) その後は浅水(2~3cm)管理 水管理 ・移植1ヶ月後に必要な茎数 (20本/株)を確保したら 間断かん水開始(右図) ・茎数が多いとき(25本/株以上) は中干しを行う									
		間断かん水開始 (田植1ヶ月後) 加里追肥 (7月上旬まで)	間断かん水	土壤改良材 肥料名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (kg/10a) (珪酸加里 (7月上旬までに施用) 20~25kg/10a 塩化加里 5~10kg/10a)	間断かん水のやり方 									
	平均 気温	生育経過および主な作業 【薬剤使用】	水管理	生産履歴(生産者記入)	栽培のポイント									

7月 1日～	最高分けつ期 中干し (茎数が多い (25本/株以上)と きに限る)	病害防除 <input type="text"/> 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (いもち病発生の場合に限る) 倒伏防止剤 <input type="text"/> 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (倒伏の可能性があるときに限る) 水田除草 <input type="text"/> 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (g/10a) (雑草が多いときに限り後期剤散布)	いもち病が発生したら 出穂期前に治療・予防剤(主な薬剤 カスラブサイド粉剤DLなど) 倒伏軽減剤の使用(主な薬剤 セリトド、スレト粒剤) 倒伏の可能性があるとき(穂肥施用時期、一番長い葉(12葉)44cm以上)は施用 除草剤散布 雑草が多いときに限り後期剤散布(主な薬剤 ハサグラン粒剤, クソチャ- EW)								
11日～			生育診断による適期穂肥 ・一発基肥を使用の場合(ひとふりくんプレミア2号、BB基肥一発080 施用) 穂肥なし ・一発基肥ではない場合(BBコシカ 555など) 生育診断で出穂期の予測(左図) 出穂前15日前に穂肥 窒素成分 1~1.5kg/10a 施用(NK707 6~9kg/10a) 出穂診断 <table border="1" data-bbox="2291 768 2766 957"> <thead> <tr> <th>幼穂長 (mm)</th> <th>出穂前 (日前)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>80</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> タバコでわかる出穂期	幼穂長 (mm)	出穂前 (日前)	8	18	19	15	80	10
幼穂長 (mm)	出穂前 (日前)										
8	18										
19	15										
80	10										
1日～	(8/5~10) 【本田防除】 (無人ヘリ防除など)	穂肥 <input type="text"/> 肥料名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (kg/10a) 出穂日 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> 本田防除 <input type="text"/> 農薬名 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/> (無人ヘリ防除: 主な資材 カスラプロホンなど)	本田防除(穂いもち、カメムシ等の防除) 無人ヘリなどの共同防除をおこなう 								
11日～ 21日～		この時期の病虫害防除は、広域で一度に実施しなければ防除効果はありません。 無人ヘリ、または集落毎の共同防除を実施しましょう。	収穫期の判断 								
9月 1日～	落水(出穂1ヵ月後)										
11日～	収穫期 (帯緑色籾率 10~3%)	収穫日 <input type="text"/> 月日 <input type="text"/>	収穫は胴割米防止のため帯緑色籾率 10~3%で行う								

農薬を使用の際は、ラベルをよく読んで使用してください。